

平成29年度

京都府後期高齢者医療広域連合
一般会計・後期高齢者医療特別会計
歳入歳出決算審査意見書

京都府後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
第5	審査の概要	2
第6	実質収支に関する調書	12
第7	財産に関する調書	12
第8	意見	13

表記に関する注意事項

文中及び表中に用いる比率は、特に必要があるものを除き、小数点以下第2位を四捨五入した。そのため、構成比については、総数と内訳の計とが一致しない場合がある。

平成29年度京都府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成29年度京都府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書及びその附属書類

第2 審査の期間

平成30年7月

第3 審査の方法

審査に当たっては、京都府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書及び附属書類が関係法令に適合しているかどうかを確認するとともに、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料を照合審査し、併せて関係職員から説明を聴取した。

第4 審査の結果

審査に付された京都府後期高齢者医療広域連合一般会計・後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書及びその他附属書類はいずれも関係法令に準拠して作成され、審査した範囲において、その係数は関係帳簿等と照合した結果、適正に表示されていると認められる。

なお、予算執行状況は、第5に示すとおりである。

第5 審査の概要

1 総括

(1) 決算の概要

ア 歳入歳出決算

一般会計と後期高齢者医療特別会計（以下「特別会計」という。）を合わせた総計決算額は、予算総額 340,068,863,000 円に対して、歳入決算額 350,122,442,239 円（前年度比 3.0%増）、歳出決算額 339,281,685,584 円（前年度比 3.7%増）となっている。

（表1）総計決算額

（単位：円、%）

区分	歳入決算額			歳出決算額		
	29年度	28年度	対前年度比 増△減率	29年度	28年度	対前年度比 増△減率
一般会計	998,425,407	1,016,261,038	△1.8	975,547,588	952,965,771	2.4
特別会計	349,124,016,832	338,777,588,291	3.1	338,306,137,996	326,377,380,960	3.7
計	350,122,442,239	339,793,849,329	3.0	339,281,685,584	327,330,346,731	3.7

イ 決算収支前年度比較

総計の歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額（以下「形式収支」という。）及び形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源（0円）を差し引いた実質収支額（以下「実質収支」という。）ともに 10,840,756,655 円であり、前年度と比較すると 1,622,745,943 円（前年度比 13.0%減）の減少となっている。

（表2）決算収支

（単位：円、%）

区分	形式収支				実質収支			
	29年度	28年度	対前年度比較		29年度	28年度	対前年度比較	
			増△減額	増△減率			増△減額	増△減率
一般会計	22,877,819	63,295,267	△40,417,448	△63.9	22,877,819	63,295,267	△40,417,448	△63.9
特別会計	10,817,878,836	12,400,207,331	△1,582,328,495	△12.8	10,817,878,836	12,400,207,331	△1,582,328,495	△12.8
計	10,840,756,655	12,463,502,598	△1,622,745,943	△13.0	10,840,756,655	12,463,502,598	△1,622,745,943	△13.0

2 一般会計

(1) 予算の概要

歳入歳出当初予算額は 767,900,000 円、予算現額は、1,000,060,000 円となっている。

(表 3) 歳入歳出予算額

(単位：円)

区分	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
一般会計	767,900,000	232,160,000	0	1,000,060,000

(2) 決算の概要

ア 一般会計歳入歳出決算

形式収支及び実質収支は、22,877,819 円の黒字となっている。

(表 4) 一般会計歳入歳出決算収支

(単位：円)

区分	予算現額	歳入 決算額	歳出 決算額	形式収支	翌年度へ繰り越すべき財源			実質 収支
					繰越 明許費	事故 繰越し	計	
一般会計	1,000,060,000	998,425,407 (収入率 99.8%)	975,547,588 (執行率 97.5%)	22,877,819	0	0	0	22,877,819

イ 一般会計決算収支前年度比較

一般会計の歳入決算額は 998,425,407 円、歳出決算額は 975,547,588 円となっており、前年度と比較すると、歳入は 17,835,631 円（前年度比 1.8%減）の減少、歳出は 22,581,817 円（前年度比 2.4%増）の増加となっている。

(表 5) 一般会計歳入歳出決算収支の対前年度比較

(単位：円、%)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			増△減額	増△減率
歳入総額	998,425,407	1,016,261,038	△17,835,631	△1.8
歳出総額	975,547,588	952,965,771	22,581,817	2.4
形式収支	22,877,819	63,295,267	△40,417,448	△63.9
翌年度へ繰り越す べき財源	0	0	0	0
実質収支	22,877,819	63,295,267	△40,417,448	△63.9

(3) 一般会計歳入歳出決算分析

ア 歳入決算の分析

歳入決算額は、998,425,407 円で、前年度と比較して 17,835,631 円（前年度比 1.8% 減）の減少となっているが、これは主に人間ドック等の長寿健康増進事業に対する特別調整交付金（国庫支出金）の減によるものである。

なお、予算現額に対する比率は、99.8%となっている。

(表 6) 一般会計歳入決算対前年度比較

(単位：円、%)

年 度	予算現額	決算額	決算額の予算現額 に対する比率
平成 29 年度	1,000,060,000	998,425,407	99.8
平成 28 年度	1,004,400,000	1,016,261,038	101.2
対前年度増△減額	△4,340,000	△17,835,631	

歳入決算額の内訳は、分担金及び負担金が 664,431,014 円、国庫支出金 222,152,824 円、府支出金 34,135,000 円、財産収入 55,979 円、繰入金 39,395,000 円、繰越金 31,295,267 円、諸収入 6,960,323 円となっている。

分担金及び負担金は、本広域連合を組織する府内の全ての市町村が規約に定めるところに従い負担する負担金（以下「分賦金」という。）である。

なお、不納欠損額、収入未済額は、いずれも生じていない。

(表 7) 款別歳入決算

(単位：円、%)

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損 額	収入 未済 額	収入率	
						対予算	対調定
分担金負担金	664,431,000	664,431,014	664,431,014	0	0	100.0	100.0
国庫支出金	219,759,000	222,152,824	222,152,824	0	0	101.1	100.0
府支出金	38,000,000	34,135,000	34,135,000	0	0	89.8	100.0
財産収入	58,000	55,979	55,979	0	0	96.5	100.0
繰入金	39,395,000	39,395,000	39,395,000	0	0	100.0	100.0
繰越金	31,296,000	31,295,267	31,295,267	0	0	100.0	100.0
諸収入	7,121,000	6,960,323	6,960,323	0	0	97.7	100.0
計	1,000,060,000	998,425,407	998,425,407	0	0	99.8	100.0
前年度	1,004,400,000	1,016,261,038	1,016,261,038	0	0	101.2	100.0
増△減額	△4,340,000	△17,835,631	△17,835,631	0	0		

(表8) 款別歳入決算額の対前年度比較

(単位：円、%)

科 目	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			増△減額	増△減率
分担金及び負担金	664,431,014	664,431,015	△1	0.0
国庫支出金	222,152,824	286,893,932	△64,741,108	△22.6
府支出金	34,135,000	32,416,000	1,719,000	5.3
財産収入	55,979	71,202	△15,223	△21.4
繰入金	39,395,000	0	39,395,000	皆増
繰越金	31,295,267	24,686,106	6,609,161	26.8
諸収入	6,960,323	7,762,783	△802,460	△10.3
歳入合計	998,425,407	1,016,261,038	△17,835,631	△1.8

イ 歳出決算の分析

歳出決算額は、975,547,588円であり、前年度と比較して22,581,817円（前年度比2.4%増）増加しており、予算現額に対する比率（執行率）は97.5%となっている。

(表9) 一般会計歳出決算対前年度比較

(単位：円、%)

年 度	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額	不用額	(B) の (A) に対する比率	
平成 29 年度	1,000,060,000	975,547,588	0	24,512,412	97.5	
平成 28 年度	1,004,400,000	952,965,771	0	51,434,229	94.9	
対前 年度	増△減額	△4,340,000	22,581,817	0	△26,921,817	
	増△減率	△0.4	2.4	0	△52.3	

(4) 一般会計歳出款別予算執行状況

歳出決算額の内訳は、議会費が 1,292,306 円、総務費が 973,254,383 円、民生費が 1,000,899 円となっている。

(表 1 0) 款別歳出決算

(単位：円、%)

科 目	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率
議会費	1,587,000	1,292,306	0	294,694	81.4
総務費	996,073,000	973,254,383	0	22,818,617	97.7
民生費	2,400,000	1,000,899	0	1,399,101	41.7
予備費	0	0	0	0	0.0
計	1,000,060,000	975,547,588	0	24,512,412	97.5
前年度	1,004,400,000	952,965,771	0	51,434,229	94.9
増△減額	△4,340,000	22,581,817	0	△26,921,817	

対前年度で増減の大きかった科目は、民生費の特別会計への事務費繰出金（保険料還付加算金）の増に伴うものである。

(表 1 1) 款別歳出決算額の対前年度比較

(単位：円、%)

科 目	平成 29 年度		平成 28 年度		比較増減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増△減額	増△減率
議会費	1,292,306	0.1	1,163,542	0.1	128,764	11.1
総務費	973,254,383	99.8	951,461,926	99.8	21,792,457	2.3
民生費	1,000,899	0.1	340,303	0.0	660,596	194.1
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	975,547,588	100.0	952,965,771	100.0	22,581,817	2.4

3 特別会計

(1) 予算の概要

歳入歳出当初予算額は、332,401,502,000 円、予算現額は、339,068,803,000 円となっている。

(表 1 2) 歳入歳出予算額

(単位：円)

区分	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	予算現額
特別会計	332,401,502,000	6,667,301,000	0	339,068,803,000

(2) 決算の概要

ア 特別会計歳入歳出決算

特別会計決算における形式収支及び実質収支は、10,817,878,836 円の黒字となっている。

(表 1 3) 特別会計歳入歳出決算収支

(単位：円、%)

区分	予算現額	歳入 決算額	歳出 決算額	形式 収支額	翌年度へ繰り越すべき財源			実質 収支額
					繰越 明許費	事故 繰越し	計	
特別 会計	339,068,803,000	349,124,016,832 (収入率 103.0%)	338,306,137,996 (執行率 99.8%)	10,817,878,836	0	0	0	10,817,878,836

イ 特別会計決算収支前年度比較

特別会計の歳入決算額は 349,124,016,832 円、歳出決算額は 338,306,137,996 円となっており、前年度と比較すると、歳入は 10,346,428,541 円（前年度比 3.1%増）、歳出は 11,928,757,036 円（前年度比 3.7%増）の増加となっている。

(表 1 4) 特別会計歳入歳出決算収支の対前年度比較

(単位：円、%)

区分	平成 29 年度	平成 28 年度	対前年度比較	
			増△減額	増△減率
歳入総額	349,124,016,832	338,777,588,291	10,346,428,541	3.1
歳出総額	338,306,137,996	326,377,380,960	11,928,757,036	3.7
形式収支	10,817,878,836	12,400,207,331	△1,582,328,495	△12.8
翌年度へ繰り 越すべき財源	0	0	0	0
実質収支	10,817,878,836	12,400,207,331	△1,582,328,495	△12.8

(3) 特別会計歳入歳出決算分析

ア 歳入決算の分析

歳入決算額は、349,124,016,832 円で、前年度と比較して 10,346,428,541 円（前年度比 3.1%増）の増加となっており、予算現額に対する比率は、103.0%となっている。

(表 1 5) 特別会計歳入決算対前年度比較 (単位：円、%)

年 度	予算現額	決算額	決算額の予算現額 に対する比率
平成 29 年度	339,068,803,000	349,124,016,832	103.0
平成 28 年度	332,196,758,000	338,777,588,291	102.0
対前年度増△減額	6,872,045,000	10,346,428,541	

歳入決算額の内訳は、市町村が徴収する保険料 26,351,329,591 円及び保険給付に係る市町村の負担分等 32,450,785,137 円の合計である市町村支出金 58,802,114,728 円、保険給付に係る国の負担分等である国庫支出金 111,296,910,516 円、保険給付に係る府の負担分等である府支出金 28,267,635,389 円、協会けんぽ、国保等の医療保険者からの支援金である支払基金交付金 137,935,742,000 円、1 件 400 万円を超える医療費の 200 万円を超える部分について国民健康保険中央会から交付される特別高額医療費共同事業交付金 154,517,937 円、一般会計からの繰入金 1,000,899 円、繰越金 12,400,207,331 円、第三者納付金等である諸収入 265,888,032 円となっている。

諸収入については、被保険者への第三者の加害に係る返還金や被保険者からの返納金が大部分を占めているが、その収入率は 80.9%、未済額が 62,668,482 円となっており、前年度より 6,570,404 円増加している。

(表 1 6) 款別歳入決算 (単位：円、%)

科 目	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損 額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
市町村支出金 (うち保険料)	58,239,830,000 (25,937,088,000)	58,802,114,728 (26,351,329,591)	58,802,114,728 (26,351,329,591)	0 0	0 0	101.0 (101.6)	100.0 (100.0)
国庫支出金	105,984,371,000	111,296,910,516	111,296,910,516	0	0	105.0	100.0
府支出金	28,039,720,000	28,267,635,389	28,267,635,389	0	0	100.8	100.0
支払基金交付金	137,683,186,000	137,935,742,000	137,935,742,000	0	0	100.2	100.0
特別高額医療費共同事業交付金	184,915,000	154,517,937	154,517,937	0	0	83.6	100.0
繰入金	2,400,000	1,000,899	1,000,899	0	0	41.7	100.0
繰越金	8,665,365,000	12,400,207,331	12,400,207,331	0	0	143.1	100.0
諸収入	269,016,000	328,556,514	265,888,032	0	62,668,482	98.8	80.9
計	339,068,803,000	349,186,685,314	349,124,016,832	0	62,668,482	103.0	100.0
前年度	332,196,758,000	338,833,686,369	338,777,588,291	0	56,098,078	102.0	100.0
増△減額	6,872,045,000	10,352,998,945	10,346,428,541	0	6,570,404		

繰越金については、国等から交付を受け、翌年度に返還が必要となる療養給付費負担金等を含んでいるが、前年度より 2,742,877,776 円（前年度比 18.1%減）減少している。

歳入決算額に占める構成比をみると、主なものは、市町村支出金 16.8%、国庫支出金 31.9%、府支出金 8.1%、支払基金交付金 39.5%となっている。市町村支出金については、市町村が徴収する保険料 26,351,329,591 円（構成比 7.5%）を除くと、その構成比は 9.3%となる。

（表 17）款別歳入決算額の対前年度比較

（単位：円、%）

科 目	平成 29 年度		平成 28 年度		対前年度比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増△減額	増△減率
市町村支出金	58,802,114,728	16.8	56,222,065,758	16.6	2,580,048,970	4.6
（うち保険料）	(26,351,329,591)	(7.5)	(24,987,708,946)	(7.4)	(1,363,620,645)	(5.5)
国庫支出金	111,296,910,516	31.9	107,539,105,655	31.7	3,757,804,861	3.5
府支出金	28,267,635,389	8.1	27,241,668,942	8.0	1,025,966,447	3.8
支払基金交付金	137,935,742,000	39.5	132,258,014,000	39.0	5,677,728,000	4.3
特別高額医療費共同事業交付金	154,517,937	0.0	137,868,541	0.0	16,649,396	12.1
繰入金	1,000,899	0.0	340,303	0.0	660,596	194.1
繰越金	12,400,207,331	3.6	15,143,085,107	4.5	△2,742,877,776	△18.1
諸収入	265,888,032	0.1	235,439,985	0.1	30,448,047	12.9
歳入合計	349,124,016,832	100.0	338,777,588,291	100.0	10,346,428,541	3.1

イ 歳出決算の分析

歳出決算額は、338,306,137,996 円であり、前年度と比較して 11,928,757,036 円（前年度比 3.7%増）の増加となっており、予算現額に対する率（執行率）は 99.8%となっている。

繰越額は 0 円、不用額は 762,665,004 円となっている。

（表 18）特別会計歳出決算対前年度比較

（単位：円、%）

年 度	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度 繰越額	不用額	(B) の (A) に対する比率	
平成 29 年度	339,068,803,000	338,306,137,996	0	762,665,004	99.8	
平成 28 年度	332,196,758,000	326,377,380,960	0	5,819,377,040	98.2	
対前 年度	増△減額	6,872,045,000	11,928,757,036	0	△5,056,712,036	
	増△減率	2.1	3.7	0	△86.9	

(4) 特別会計歳出款別予算執行状況

歳出決算額の内訳は、保険給付費 330,881,116,216 円、府財政安定化基金拠出金 184,171,000 円、特別高額医療費共同事業拠出金 146,702,166 円、保健事業費 387,545,671 円、諸支出金 6,706,602,943 円となっている。歳出決算額に占める構成比をみると、そのほとんどは保険給付費であり全体の 97.8%を占めている。

（表 19）款別歳出決算

（単位：円、%）

科 目	予算現額	支出済額	翌年度 繰越額	不用額	執行率
保険給付費	331,587,446,000	330,881,116,216	0	706,329,784	99.8
府財政安定化基金拠出金	184,171,000	184,171,000	0	0	100.0
特別高額医療費共同事業拠出金	185,215,000	146,702,166	0	38,512,834	79.2
保健事業費	393,003,000	387,545,671	0	5,457,329	98.6
公債費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
諸支出金	6,716,968,000	6,706,602,943	0	10,365,057	99.8
予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0.0
計	339,068,803,000	338,306,137,996	0	762,665,004	99.8
前年度	332,196,758,000	326,377,380,960	0	5,819,377,040	98.2
増△減額	6,872,045,000	11,928,757,036	0	△5,056,712,036	

(表 20) 款別歳出決算額の対前年度比較

(単位：円、%)

科 目	平成 29 年度		平成 28 年度		比較増減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増△減額	増△減率
保険給付費	330,881,116,216	97.8	315,891,567,795	96.8	14,989,548,421	4.7
府財政安定化基金拠出	184,171,000	0.1	184,172,000	0.1	△1,000	0.0
特別高額医療費共同事業拠出金	146,702,166	0.0	140,718,853	0.0	5,983,313	4.3
保健事業費	387,545,671	0.1	334,848,864	0.1	52,696,807	15.7
公債費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
諸支出金	6,706,602,943	2.0	9,826,073,448	3.0	△3,119,470,505	△31.7
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	338,306,137,996	100.0	326,377,380,960	100.0	11,928,757,036	3.7

第6 実質収支に関する調書の審査

審査に付された一般会計及び特別会計の実質収支に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、金額は正確である。

第7 財産に関する調書

財産の当年度における異動及び当年度末現在高の状況は、以下のとおりである。
なお、公有財産及び債権はない。

(1) 物品

取得価額 100 万円以上の物品は、当年度末 3 点で、前年度末と同じである。

(2) 基金

財政調整基金は、前年度末に比べて 7,318,704 円（前年度比 1.4%減）の減少となっている。これは、主として人間ドックの費用助成にかかる特別調整交付金の減少分を補てんするため、基金を取り崩したことによるものである。

(表 21) 基金対前年度比較

(単位：円)

区 分	平成 28 年度末 現在高	平成 29 年度中 増△減高	平成 29 年度末 現在高
財政調整基金	536,865,206	△7,318,704	529,546,502

第8 意見

一般会計においては、歳出予算の執行率は97.5%であり、平成28年度(94.9%)と比較すると、執行率は上昇しており、おおむね適正な予算執行が行われているものと認められる。

実質収支は22,877,819円の黒字となり、10年連続の黒字決算となった。実質収支のうち、10,877,819円については翌年度に繰り越し、残額の12,000,000円については財政調整基金へ編入されている。

広域連合の運営経費は市町村の分担金で賄われていることから、引き続き事務の効率化に努め、適切な財政運営を図られたい。

特別会計においては、歳出予算の執行率は99.8%であり、平成28年度(98.2%)と比較すると、執行率は上昇しており、適正な予算執行が行われているものと認められる。

実質収支は10,817,878,836円の黒字となり10年連続の黒字決算となったが、これには、国や社会保険診療報酬支払基金等へ翌年度返還すべき金額が含まれており、これらを控除した金額が剰余金となる。

なお、医療機関等の不正請求、第三者加害や被保険者負担金差額等に係る返還金において、収入未済額が62,668,482円生じ、前年度に比べ増加している。公平性の確保等の観点から、引き続き適正な債権管理に努めるとともに、収入未済額の削減に向けて努力されたい。

「経済財政運営と改革の基本方針2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」(骨太の方針)では、高齢者数がピークを迎える2040年頃を見据えて、社会保障分野の基本的な考えとして、社会保障の持続可能性を確保するため給付と負担の見直し、現役世代の人口が急減する中での社会の活力維持向上等の取組を進めるものとされた。

京都府後期高齢者医療広域連合におかれては、こうした中であっても、被保険者の方々が安心して医療サービスを受け続けられるよう、国や京都府、府内市町村等の関係機関との緊密な協力・連携に努め、積極的な歳入の確保や、事業の執行に当たっては最小の経費で最大の効果を上げることを念頭に、今後とも規律ある財政運営及び安定した制度運営を図られたい。